

# 平成25年度予算見積調書

課室名：義務教育指導課  
 担当名：小中一貫教育推進担当  
 内線：6778 (単位：千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B82	キャリア教育総合推進事業		一般会計	教育費	教育総務費	教育連絡調整費	進路指導推進費	
事業期間	平成18年度～	根拠法令	地方教育行政の組織及び運営に関する法律第48条		戦略項目	06 時代に応え未来を拓く人材育成		
					分野施策	020101 確かな学力と自立する力の育成		
1 事業概要 児童生徒一人一人のキャリア発達を支援し、学校の教育活動全体を通じて、児童生徒の発達段階に応じた組織的・系統的なキャリア教育の推進への支援が求められている。 そこで、中高の連携を深め生徒の進路実現の具現化を図る目的で、地区毎の進路指導・キャリア教育研究協議会を開催するとともに、家庭・地域との連携を深め、地域で働く方等を講師とする講演会を実施することで、進路や職業に対する関心・意欲を高め、望ましい勤労観・職業観を育成する。 (1) 進路指導に係る研究協議 60千円 (2) 家庭・学校・地域「ふれあい講演会」の実施 3,630千円			5 事業説明 (1) 事業内容 ア 進路指導に係る研究協議 60千円 中高の連携を深め、生徒の進路実現の具現化を図るため、4教育事務所ごとに進路指導・キャリア教育研究協議会を開催し、推進上の課題について情報交換、研究協議を行う。 イ 家庭・学校・地域「ふれあい講演会」の実施 3,630千円 家庭・地域との連携を深め、地域で働く方や経営者等を講師として招き、生徒の進路意識や職業観・勤労観などの総合的な向上を図る。 (2) 事業計画 ア 10月に4教育事務所ごとに、市町村立中学校及び県公立高等学校の進路指導主事、入試担当者を対象とした研究協議会を年1回開催する。 イ 各中学校において3年に1回程度、必要に応じて合同での開催や中学校ごとに年間複数回の開催など、市町村の主体性を生かした方法により講演会を実施する。 (3) 事業効果 ア 中高の進路指導・入試担当者の交流により、中高相互の進路指導・キャリア教育の実践について情報交換を行うとともに、共通の課題により研究協議を行うことにより、中高相互の進路指導・キャリア教育の推進を図る。 イ 地域で活躍されている方や専門的分野の方からの講演により、生徒一人一人の勤労観・職業観を養うことができる。 (4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況 地域や民間からの講師を招聘することにより、学校と地域、企業を結び付けている。					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)								
3 地方財政措置の状況 なし								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.2人=1,900千円								
予算額			財 源 内 訳				一般財源	前年との対比
決定額	3,690						3,690	0
前年額	3,690						3,690	